

9月1日は、「防災の日」

「防災の日」は、大正12年9月1日に起きた関東大震災にちなんで、“災害への備えを怠らないように”との思いを込めて昭和35年に制定されました。この時期に台風が来ることも由来の一つです。

天災は忘れた頃にやってくる

芽室町での地震発生は、10年から20年ぐらいの間隔で震度5の地震が発生しています。

直近の震度5の発生は、平成15年9月26日です。

地震の怖さは、何の前触れもなく突然やってくることです。風水害では、よほどの局地的豪雨でない限り、被害発生を事前予測できますが、地震発生の予知は確立されていません。

緊急地震速報がテレビ・ラジオで流され、大きな揺れが来るまで長くて30秒ほどの準備時間が確保できます。

ただ、震源が近いと緊急地震速報は間に合いません!!

大地震が発生すると、電気・上下水道が利用できなくなったり、電話もつながりにくくなります(利用制限措置が行われる場合もあります)。災害用伝言ダイヤル「171」の声の伝言板サービスの利用や、各社携帯電話の「災害用伝言板」の利用方法を確認しておきましょう。

地震などの災害時に頼りになるのは、隣近所・町内会の皆さんです。

いざという時は、「遠くの親戚より、近くの他人」です。

日ごろから、ご近所同士で声を掛け合うなど、いざというときのためにチームワーク作りをしておきましょう(町内会親睦行事などの際に、ご近所との親睦を図るのもひとつです)。

災害は地震だけではありません!!

昭和47年9月台風20号による豪雨で床上・床下浸水128戸、畑の冠水・流出2,517ヘクタール被害総額約5億8千万の被害が発生しています。

その後、このような大規模水害は発生していませんが、近年異常な豪雨が国内各地で起きています。北海道でも1時間に50ミリを超える雨量が観測されていますので、芽室でも思わぬ豪雨被害が発生することが考えられます。テレビやラジオの気象情報、雨の降り方に注意しましょう。

家族のみんなでチェックしておこう!

家族同士の連絡方法の確認

避難場所の確認

非常持出品の確認

貴重品袋、現金、懐中電灯、携帯ラジオ、ばんそうこうや持病のある方は治療薬など

家庭での備蓄品

水、食料(レトルトパック食品、カップめん、菓子類、アルファ化米などを3日分9食程度)。飲料水は1人1日3ℓが必要。卓上コンロや固形燃料(毎年9月1日に確認するなど点検期日を決めてください)。

※本年5月に全戸配付した「防災ハンドブック」をご活用ください。また、NTT電話帳のレッドページ(防災情報)もご一読ください。



☎総務課地域安全係

☎62-9720 ✉ j-koutsu@memuro.net